



NO.

いちょう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

第四回 待乳山浮世絵展

「待乳山・隅田川・山谷堀」を開催します

当山では平成二十五年から二年毎に、当山所蔵の浮世絵の展示を中心とした、浮世絵展を開いてまいりました。

第一回は「名刹 待乳山聖天と周辺地域」と題し、待乳山周辺の歴史や風景を、江戸時代の浮世絵を中心に戦前の写真や資料を加え展示をいたしました。

第二回は海を超えて評価されたボストン美術館所蔵の浮世絵データの中から当山が描かれたものを中心に展示し、国境を超えた江戸情緒をお伝えしました。

第三回のテーマは「待乳山と隅田川」。高輪から浅草、今戸までを描いた葛飾北斎の『絵本隅田川兩岸一覽』を中心に隅田川流域の歴史・文化や風俗、現在の様子を紹介いたしました。

そして今回の浮世絵展のテーマは「待乳山・隅田川・山谷堀」です。

前回のテーマであった隅田川に加え、上流の荒川、支流にあたる山谷堀、石神井川まで辿ります。

現在の風景とは大きく異なっていた、美しく粋な水の都江戸の浮世絵を中心に展示し、その機能と歴史、文化をお伝えします。

九月十六日、二十九日には、前回も大好評だった浅



前回の浮世絵展の様子



北斎「隅田川兩岸一覽」の解説パネルも再び展示いたします。

草寺教化部藤元裕二氏によるギャラリートークがございます。両日ともに午前十一時と午後二時の各二回、展示会場を巡りながら解説をしていただきます。

基本的な浮世絵の技法や見方、時代背景や一つの作品の注目ポイントなどの説明を聞きながら見ることで、作品に対する知識や新しい発見を得ることが出来ます。

待乳山周辺の歴史はもちろん、日本の歴史や文化への興味と理解が一層深まることでしよう。

開催期間中はギャラリートークの他にもオープニングセレモニー（開白法要）など、イベントがございます。（詳しくは二面参照）

皆様お誘い合せの上、ご来山ください。

待乳山便り

株式会社新進 法要報告

七月二十九日、今年も「しんしんの福神漬け」で有名な株式会社新進の事業繁栄を祈願する大般若法要が執り行われました。

御宝前に福神漬けをお供えし、「七月二十九日は福神漬けの日」と入った青い半纏を着て会社の益々の発展をご祈念いたしました。



深川さんぽのご案内

十月二十六日(土) 永代寺と深川不動尊をめぐるイベントを開催いたします。

永代寺では聖天様を参拝し、深川不動尊では護摩供法要、ご法話を賜ります。

昼食は深川めしをいただき、その後深川江戸資料館を見学いたします。

集合は門前仲町駅に午前十時、解散は清澄白河駅に午後三時半を予定しております。

参加希望の方はお早めにお申し込みください。

応募締切 十月二十日 参加費 五千円



お宮参り

七月十四日、谷澤碧波ちゃん、野沢智弘ちゃん、津田琴帆ちゃん、七月二十三日には久保田萌愛ちゃんのお宮参りを行い、行者様より御加持を授かりました。尊天様の御加護で健やかに成長されることをお祈りしております。



九月御縁日大法要 行事紹介

九月二十日(金) 午前十一時

講金 三、〇〇〇円

およそ千四百年前、推古天皇の時代に、地中から忽然と湧き出た霊山に金龍が天より降つて山を守護したと当山の縁起にございます。

そしてその日が当山ご縁日の九月二十日と言われっております。

当日は十一時より住職の点てたお茶を御宝前にお供えする『献茶の儀』が行われます。

その後たくさんのお供物をお供えして、僧侶の声明で包まれる本堂で密教の作法にて聖天様を供養する、百味法要を行います。

法要終了後は参道にてお抹茶の接待があり、お神楽の奉演もあります。

浮世絵展の開催期間中でもありますので、この機会に皆様お誘い合わせの上、聖天様とのご縁を深めていただければと思います。

浮世絵展

イベントのご案内

★九月十四日(土) 開日法要

午前十時半より本堂にて浮世絵展の開催を聖天様に報告する法要を執り行います。

法要前後には待音連猿若囃子による祭囃子、法要後には吉原狐社中一の狐の舞が境内を練り歩きます。



★九月二十日(金) 開山会大法要

当山縁日の大法要が十一時より執り行われます。参道にて行われるお抹茶の接待は、講に参加されない方でも当日五〇〇円で受けることが出来ますので、皆様お誘い合わせの上ご参加ください。

★九月十六日(祝)、二十九日(日)

浅草寺教化部学芸員藤元裕二氏によるギャラリートークが午前十一時と午後二時の二回行われます。浮世絵展を何倍も楽しめる内容となっております。



★九月二十八日(土)

町会有志による茶席があります。詳細未定

無料
FREE

9月14日(土)~10月6日(日)
待乳山聖天(浅草)

UKIYO E
「待乳山・隅田川・山谷堀」

山谷堀の今昔③

いよいよ九月十四日より開催される浮世絵展、今回のテーマの一つである山谷堀について引き続きお話をします。

先月は吉野橋までご案内いたしました、その次の橋である正法寺橋へ進みます。

橋の名の通り正法寺というお寺が近くにありま

す。現在はモダンな9階建てのコンクリートのビルのお寺となっておりま

す。



正法寺は一五八二年の開山で、日蓮宗の宗門中興三師の筆頭と言われる一如院日重上人の直弟である心寿院日位聖

人が隅田川のあたりに庵室を結び、比叡山に鎮座していた伝教大師の御作の毘沙門天を奉安しました。

御縁のあった徳川家康公は天下平定の成就を正法寺に依頼し、慶長五年関ヶ原出陣での天下統一により功績が認められ東照宮君より



土地を賜り、隅田川から現在の正法寺橋付近に移りました。

現在の住職に伺うと、先代の頃は山谷堀が埋め立てられるまで、船に乗り川に沿って戦災や震災の供養を行っていたそうです。

江戸時代に浮世絵を含め数多くの作品を出版していた葛屋重三郎（つたやじゅうざぶろう）と喜多川柯理の墓もこの正法寺にあります。

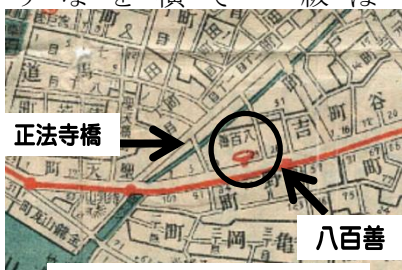
葛屋重三郎はレンタルビデオの『TSUTAYA』

の名前の由来だそうです。

ちなみに、橋の親柱には「しろうぼうじはし」とありますが、正しくは「しろうぼうじ」と読みます。

また、正法寺橋付近には八百善という有名な高級料亭がありました。

江戸時代に発行されていた料亭番付では常に『横綱』の座を譲らない江戸を代表する料亭で、浮世絵などにも多く描かれており



東京市全図明治 43 年

ます。

幕末のペリー来航の際、ペリーが船から降りて最初に江戸の町を歩いたのは八百善に行くためだったという逸話があり、また明治時代にはエリザベス女王の王子、ロシア親王、ニコライ二世の接待をするなど国際的にも有名でした。

関東大震災で

山谷にあった店舗は全焼し、移転先の築地の店舗も東京大空襲で全焼。その後も移転を繰り返し、店舗のない時期もありましたが、現在は鎌倉の明王院という寺院の境内にある店舗にて、江戸料理を現代に伝えております。



「当世美婦揃」歌川国貞（1786-1865）

浮世絵展―待乳山・隅田川・山谷堀―
令和元年九月十四日〜十月六日 入場無料

九月行事予定

浮世絵展、待乳山隅田川山谷堀、 九月十四日〜十月六日 午前九時半〜午後四時

大広間にて、待乳山とその眼下に広がる隅田川、そして待乳山の裏手を流れていた支流の山谷堀などに関する浮世絵を中心とした展示を行います。

入場無料

浮世絵展 開白法要 九月十四日（土） 午前十時三〇分〜

待音連猿若囃子による祭囃子

開白法要の前後に行われます。

吉原の狐舞ひ

吉原狐社中の皆様に、吉原に伝わる狐の舞を披露していただきます。

御縁日大法要

開山会大法要 九月二十日（金） 午前十一時 講金 三、〇〇〇円也

当山の開山日を祝う法要を行います。また大広間にてお抹茶が振る舞われます。

朝まいり会 九月一日〜七日 午前八時から八時半 会費 五〇〇円也

都合のよい日に、ご参加くださっても結構です。七日には斉食後、法要があります。

日曜勤行 九月八日（日） 午前九時 参加費 無 料

初心の方も気軽に参加いただけるおつとめの会です。

写経の会 九月八日（日） 午前十時〜午後一時 会費 五〇〇円也

心を落ち着かせて写経することで、日常を離れ、自分を見つめ直しましょう。

午後は空いていますので、落ち着いて写経が行えます。

坐禅の会 九月二十八日（土） 午後五時〜七時 定員三十名 参加費 五〇〇円也

本堂にて坐禅を行います。定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。

合同大般若法要 九月二十五日（水） 午前十一時 法要料 五、〇〇〇円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんと一緒にお上げする御礼の法要です。

十月の行事 御縁日大法要

歓喜講祈禱会 十月二十日（日） 午前十一時 講金 三、〇〇〇円也

祈祷のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈祷を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈祷期間をお伝え下さい。またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈祷料

別座祈祷 壺万円（一週間）
浴油祈祷 三千五百円（一週間）
華水供 五百円（一日）

法要案内

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。

百味供養 法要料 八万円

沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすること、尊天さまに御礼の供養をいたします。

大般若法要 法要料 五万円

所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。

自動車加持 法要料 壺万円

当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。ご意見やご質問は ityou@matsuchiyama.jp までメールをお送りください。